

平成26年4月から平成26年6月の六ヶ所原子燃料サイクル施設周辺における環境放射線の評価結果は「これまでと同じ水準であった」と評価されました。

原子燃料サイクル施設の周辺環境における放射線の状況を把握するため、青森県および当社では、モニタリングステーション等による空間放射線量率の監視を継続的に行うとともに、さまざまな試料を採取し、分析・測定を行っています。

平成26年4月から平成26年6月の結果は、放射線の専門家や地

元自治体・農漁協など各種団体の関係者等で構成される「青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議（評価委員会：平成26年10月30日開催、監視委員会：平成26年11月25日開催）」において審議され、「これまでと同じ水準であった」と評価・確認されました。

なお、当社施設からの影響は認められていません。

当社ホームページのご紹介

当社ホームページでは、施設周辺の放射線測定の実タイムデータなどの情報をお知らせしています。

日本原燃 環境モニタリング

放射線モニタリングのページ



空間放射線量の監視ページ



空間放射線の監視

モニタリングカー
モニタリングステーション
モニタリングポスト

環境試料の採取

土の採取
河川の水
河底土の採取
湖の水、湖底土の採取
畜産物の採取（牛乳、牧草等）
農作物の採取（ハクサイ、米、ダイコン等）
海産物の採取（ヒラメ、コンブ等）
海水、海底土の採取

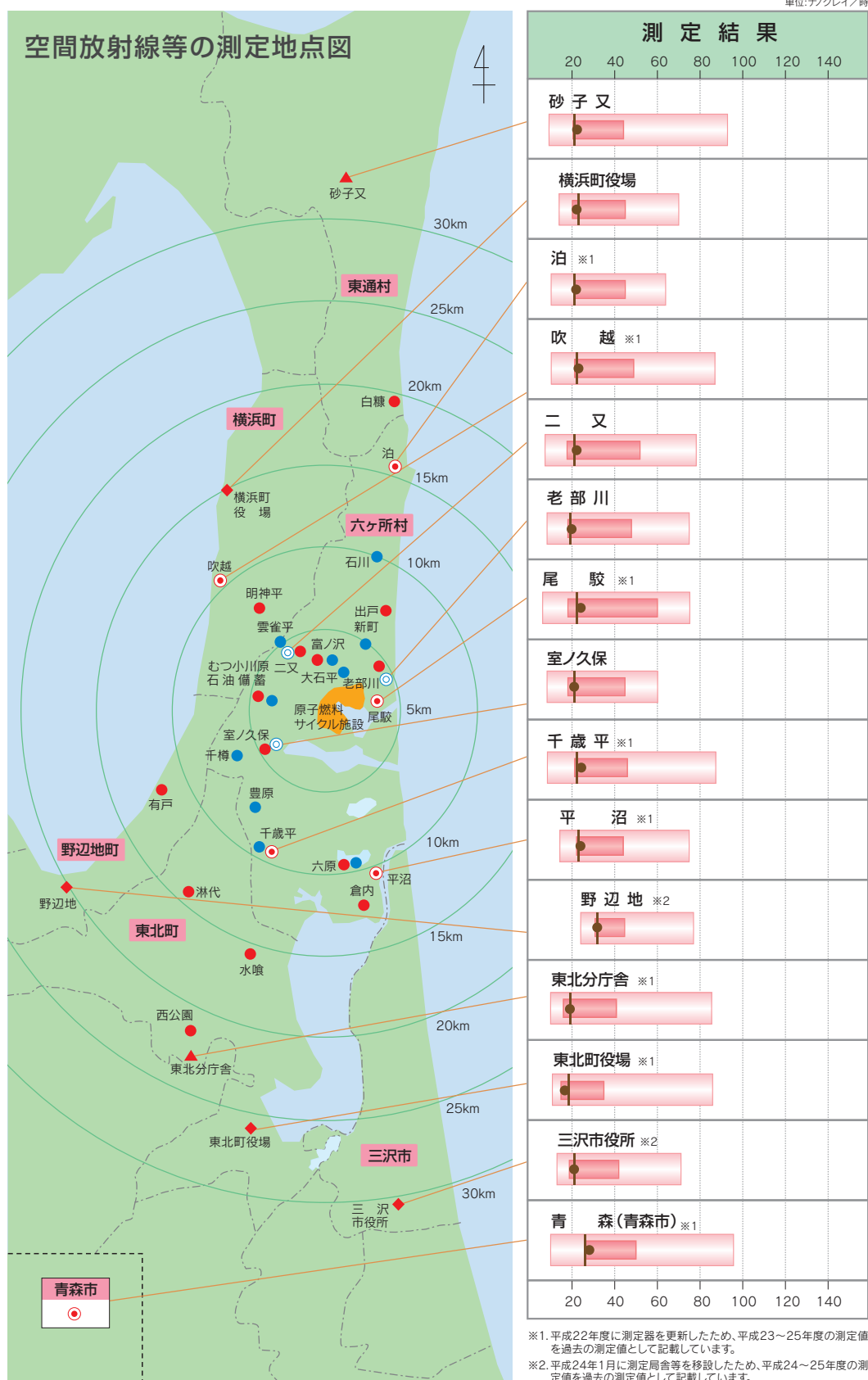
分析・測定

施設やその周辺の放射線・放射能を常に監視しています
水や土、農畜海産物などの分析・測定を行います

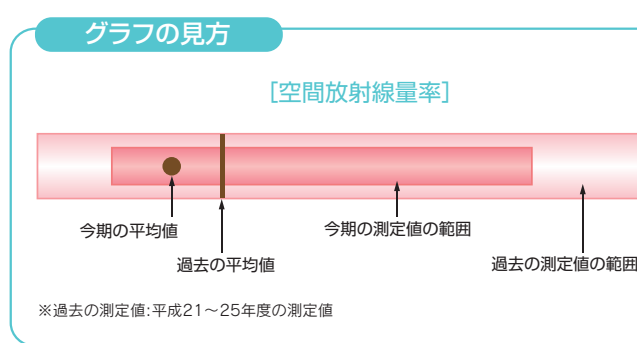
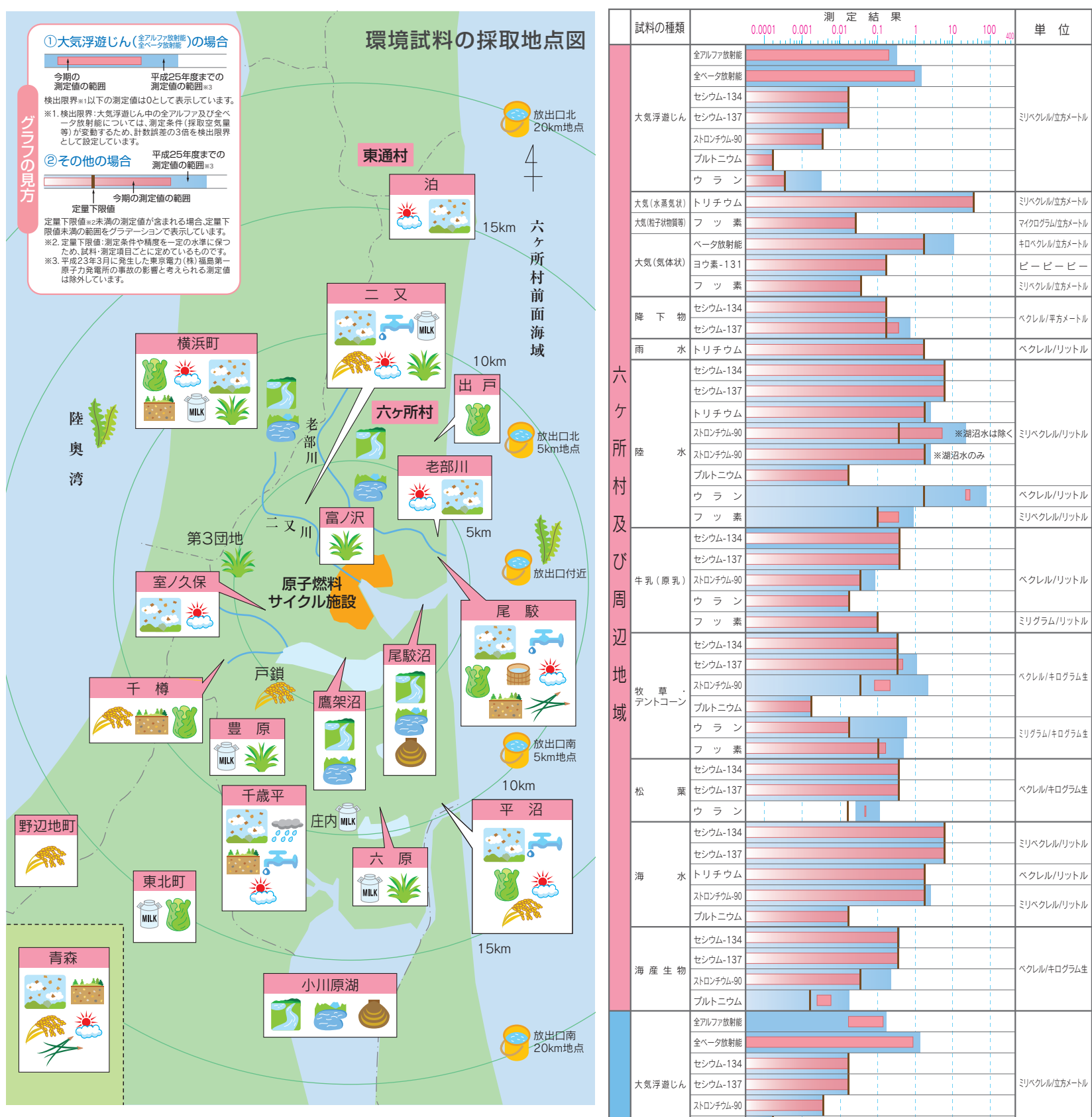
審議・評価、公表

青森県広報誌
当社広報紙

空間放射線のモニタリング結果



環境試料中の放射能のモニタリング結果



凡例

区分	県	事業者
モニタリングステーション及び積算線量計	●	◎
モニタリングポスト及び積算線量計	◆	◇
モニタリングポスト	▲	△
積算線量計	●	●

凡例

試料の種類	採取時期	記号
大気(浮遊じん)	4.7, 10.1月	☁
大気(気体状)	連続	☁
降下物	4.7, 10.1月	☁
雨水	4.7, 10.1月	☁
土	7.10月	🌱
湖沼水	4.7, 10.12月	🌊
井戸水	4.7, 10.1月	🏠
河川水	7.10月	🌊
湖底土	10月	🌱
表土	7月	🌱
牛乳(原乳)	4.7, 10.1月	🐄
牧草	5.8月	🌱
テントコーン	収穫期1回	🌱
稲	収穫期1回	🌱
大豆	収穫期1回	🌱
小麦	4.10月	🌱
海産物	4.7, 10.1月	🐟
海藻	10月	🌱
ヒラメ	10月	🐟
アワビ	10月	🐟
イカ	10月	🐟
ホタテ	10月	🐟
ムサシキイソガイ	4.10月	🐟
チガイ	4.10月	🐟

六ヶ所村及び周辺地域の放射能モニタリング結果

試料の種類	測定結果	単位
大気(浮遊じん)	約 0.01	ミベクレル/立方メートル
大気(気体状)	約 0.01	ビー・ビー・ビー
降下物	約 0.01	ベクレル/平方メートル
雨水	約 0.01	ベクレル/リットル
土	約 0.01	ベクレル/リットル
湖沼水	約 0.01	ベクレル/リットル
井戸水	約 0.01	ベクレル/リットル
河川水	約 0.01	ベクレル/リットル
湖底土	約 0.01	ベクレル/リットル
表土	約 0.01	ベクレル/リットル
牛乳(原乳)	約 0.01	ベクレル/リットル
牧草	約 0.01	ミリグラム/リットル
テントコーン	約 0.01	ミリグラム/キログラム
稲	約 0.01	ミリグラム/キログラム
大豆	約 0.01	ミリグラム/キログラム
小麦	約 0.01	ベクレル/キログラム
海産物	約 0.01	ベクレル/リットル
海藻	約 0.01	ベクレル/リットル
ヒラメ	約 0.01	ベクレル/リットル
アワビ	約 0.01	ベクレル/リットル
イカ	約 0.01	ベクレル/リットル
ホタテ	約 0.01	ベクレル/リットル
ムサシキイソガイ	約 0.01	ベクレル/リットル
チガイ	約 0.01	ベクレル/リットル

◎参考：「モニタリングつつしんあおり」No.94 平成26年度第1四半期報